

**「浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～」  
シンポジウムを開催します！**

福島県の浜通り地域に、令和5年4月1日、福島国際研究教育機構（Fukushima Institute for Research, Education and Innovation、通称F-REI）が設立されました。F-REI立地の際し、国内外から多くの研究者及びその家族が浜通り地域等に移住・定住することが予想されることもあり、生活環境の向上のための取組の一層の推進が求められています。

復興庁においては、浜通り地域等において、民間企業等の最先端の知見や技術、ノウハウを最大限活かしながら、官民のパートナーシップにより、生活環境向上のための実証事業に取り組むプログラム「浜通り復興リビングラボ」を、福島県、F-REI等のパートナーと連携しながら、今年度開始いたします。

リビングラボとは、生活の場を実験場としてイノベーションを実践するようなプログラムのことを指しますが、このリビングラボを通じて、生活環境向上のための官民パートナーシップが浜通りに形成されることが期待されるとともに、今後F-REIによる実証フィールド等を活用した研究開発の実施が想定されるなか、地域での効果的な実証事業受入方法等について地元が知見を深める機会となることが期待されます。

リビングラボや官民共創型事業の効果的な進め方等について知見を共有するため、別紙プログラムのとおり、「浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～」シンポジウムを9月19日（火）に福島県双葉町産業交流センターにて開催します。官民連携の取組にご関心のある多くの皆様のご参加をお待ちしています。

参加希望の方は、下記の間合先まで9月12日（火）18時までにご連絡ください。定員に達した場合、締め切りさせていただくことがありますので、お早めにご登録ください。

なお、リビングラボ実証事業につきましては、現在、民間企業等からのご提案を公募中です。募集要項等の詳細は復興庁ホームページを参照ください。

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-15/20230728171845.html>

**【お申込・問合先】復興庁原子力災害復興班**

（まちづくり担当） 富澤、中村、守谷、田辺

TEL：03-6328-0246 E-MAIL：g.machi.v5f@cas.go.jp

復興庁シンポジウム  
「浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～」  
プログラム

日時：令和5年9月19日（火）13：00～15：00

会場：双葉町産業交流センター（F-BICC）（福島県双葉郡双葉町中野高田1番地1）

※オンラインでのご参加も可能です。

参加費：無料

次 第

- 1 開会挨拶 復興副大臣 竹谷 とし子
  
- 2 「浜通り復興リビングラボ」とは  
復興庁 原子力災害復興班 参事官（まちづくり担当） 石垣 和子
  
- 3 基調講演  
三重大学大学院准教授・東京大学先端科学技術研究センター地域共創リビングラボ客員  
研究員 近藤 早映氏  
「官民共創リビングラボとは～効果、先進事例、進め方～」（仮題）
  
- 4 官民共創型まちづくり事業の先進事例
  - ① 富山県朝日町 町長 笹原 靖直氏  
次世代パブリックマネジメントアドバイザー 畠山 洋平氏
  - ② 神奈川県横浜市 政策局共創推進課 関口 昌幸氏
  
- 5 パネル・ディスカッション「官民共創リビングラボで地域はどう変わるのか」  
パネリスト  
三重大学 近藤 早映氏  
富山県朝日町 畠山 洋平氏  
横浜市 関口 昌幸氏  
モデレーター  
CODE for Japan フェロー（西会津町 CDO（最高デジタル責任者）） 藤井 靖史氏
  
- 6 閉会挨拶

# 浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～

## 背景・目的

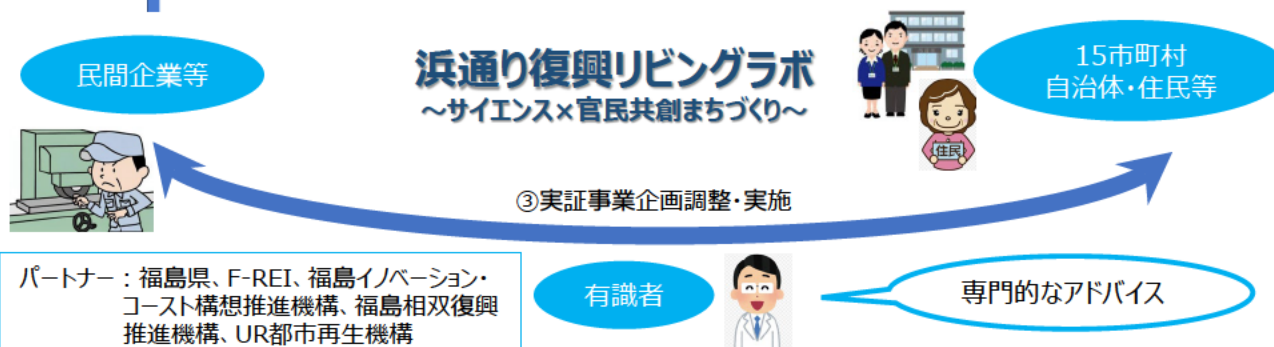
- ・福島国際研究教育機構(F-REI)が浜通りに立地することにより、国内外から研究者やその家族が浜通りに移住・定住することが想定され、浜通りでは、従来の住民や移住者はもとより、今後來訪する研究者のためにも生活環境を向上させていくことが期待される。
- ・F-REIにおいて、多くの実証事業が浜通り地域において実施されることとなり、**地元の実証事業受入能力の更なる向上が必要**。  
⇒最新のサイエンスやテクノロジーを積極的に活用し、**住宅、医療、教育、交通、買物等の生活環境に係る地域課題の解決**につなげることをめざすとともに、**浜通り地域における実証事業受入能力向上**を支援するため、「浜通り復興リビングラボ」事業を実施する。

## 浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～

住む（住宅）、出かける（交通）、学ぶ（教育）、癒やす（医療）、楽しむ（買物・娯楽等）といった生活環境分野で、産学官の協働のもと、実証事業の企画・実施を行い、地域における生活環境向上につなげる。

①生活環境にかかる地域課題を説明

②新商品・サービス・ビジネスモデルの機能・効果について検証するための実証事業提案



パートナー：福島県、F-REI、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、UR都市再生機構

※リビングラボ：生活の場（リビング）を実験場（ラボ）としてイノベーションを実践すること。

## スケジュール

- 8月：実証事業参加企業公募開始  
(締切：9月5日)  
8月8日 公募企業向け説明会  
(地域課題共有)  
8月19日 現地視察
- 9月：マッチング会議発表企業決定  
**9月19日 シンポジウム(公開)**  
9月19日 マッチング会議(非公開)
- 10月：実施プロジェクト決定・発表  
実証事業企画調整の開始  
調整が整った事業から順次実施  
(実施は次年度以降でも可)
- 2月：専門家による実証事業総評  
3月：令和5年度成果報告シンポジウム

今回発表のシンポジウム!

## 参加の主なメリット(自治体)

- ・民間企業の知見や財源を活用しながら、地域課題を民間企業と共に最新技術で解決する、**地元主体のまちづくり**を実感できる。
- ・未来のまちの姿に向け、地域住民が新商品・サービス・ビジネスモデルを使った**より良い暮らしを一足先に体験**することができる。
- ・実証から実装へ向けた展開を支援することにより、浜通りにおける**地域課題の解決**、ひいては**F-REI研究者受け入れ環境の向上**につなげられる。

## 参加の主なメリット(民間企業)

- ・地域住民が生活の中で抱える課題に即して、**新しい商品・サービス・ビジネスモデルの開発**を行うことができる。
- ・参加者募集や関係団体等との調整など、**受入自治体や復興庁、専門家の支援**が得られる。
- ・「福島復興」という**社会的意義のある目標**に貢献できる。
- ・技術的な課題について、**将来のF-REI研究との連携も視野**に入る。